

2016年9月29日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 1番5号 PMO日本橋江戸通  
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

国内外食産業 市場調査(2)

## 料飲店、ファミリーレストランなど8分野71業態を調査

2016年市場見込

クラフトビールレストラン 252億円...今後もこだわったビールと明確なフードコンセプトによる展開で需要を獲得

高価格型喫茶店・コーヒー専門 878億円...上位チェーンの店舗数増加、サービス品質の高度化進む

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は国内14分野138業態の外食産業市場を調査・分析し、その結果を3回に分けて報告書にまとめる。第2回目となる今回は、料飲店、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理、日本料理、東洋料理、エスニック料理、宿泊宴会場の8分野71業態の市場についての調査結果を報告書「**外食産業マーケティング便覧 2016 No.2**」にまとめた。

今後No.1とNo.2の調査結果の総括分析に、注目外食企業の事例研究、海外における外食産業の動向、外食産業エリアマップなどを加え、「同 No.3」にまとめる。

## &lt;調査結果の概要&gt;

	2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
料飲店	5兆5,874億円	98.9%	5兆5,423億円	99.2%
ファミリーレストラン	1兆3,295億円	100.3%	1兆3,267億円	99.8%
喫茶	1兆4,259億円	100.6%	1兆4,235億円	99.8%
西洋料理	7,695億円	101.8%	7,824億円	101.7%
日本料理	2兆6,385億円	99.1%	2兆6,213億円	99.3%
東洋料理	1兆2,495億円	99.5%	1兆2,515億円	100.2%
エスニック料理	1,340億円	101.7%	1,356億円	101.2%
宿泊宴会場	3兆7,852億円	100.6%	3兆7,946億円	100.2%

料飲店市場は2015年に幅広いメニューを提供するチェーンの需要減退が表面化し店舗数が大幅に減少した。2016年は串カツ・串揚げ専門店などを除く多くのチェーンが出店を抑えるとみられるが、前年まで不調だったチェーンの既存店が回復しているほか、メニュー専門性を高めた業態の開発・展開が加速している。また、ビアレストランは堅調であることから、市場は微減に留まるとみられる。

ファミリーレストラン市場は夏場まで比較的高価格なメニューが好調で、2015年は微増となった。2016年は前年秋以降に高価格帯メニューの売れ行きが落ちたことを受け多くのチェーンが低価格メニューを投入し来店客数の回復を図っているが個人消費は依然として厳しい状況にあることから、市場は2011年以来5年ぶりに前年比マイナスになると見込まれる。

喫茶市場は喫茶店・コーヒー専門店が「コメダ珈琲店」の積極的な出店により、シニア需要を獲得しながら拡大を続けている。コーヒーショップも上位企業が引き続き積極的に出店しており拡大を続けている。しかしながら、個人経営の喫茶店減少の影響により市場は前年比マイナスが見込まれる。

西洋料理市場は2015年に個人消費に陰りが見えてきたことでフランス料理が前年割れとなり、イタリア料理やアメリカ料理も伸びが鈍化した。ステーキ・ハンバーグレストランが「いきなり!ステーキ」の急成長で二桁増となったことで、前年を上回った。2016年は個人消費の低迷の影響を受けているフランス料理、アメリカ料理などが縮小するが、ステーキ・ハンバーグレストランが引き続き二桁増のほか、シーフードレストランがオイス

ターバーの好調で高成長となり、市場は拡大が見込まれる。

日本料理市場は2015年にすき焼き・しゃぶしゃぶが女性層の取り込みに成功し好調であったが、そば・うどんやすし、うなぎなどが個人店の不振により縮小したことから、マイナスとなった。2016年はすき焼き・しゃぶしゃぶが引き続き好調であるが、市場全体を押し上げるには至らず、前年割れが見込まれる。低価格ふく料理では訪日外国人需要の獲得に向けた取り組みを強化するなどの動きがみられる。

東洋料理市場は2015年に焼肉テーブルオーダーバイキングが肉ブームを背景に、ファミリー層を中心とした需要を獲得したが、一般中華料理、高級中華料理の縮小により、マイナスとなった。2016年は焼肉テーブルオーダーバイキングが引き続き好調であるほか、高級中華料理で需要が回復しており、市場は微増が見込まれる。韓国料理、ホルモン料理はいずれもブームが沈静化していることから、苦戦が続くとみられる。

エスニック料理市場はメキシコ料理が2015年より認知度向上や店舗数の増加で好調であり、インド料理が小規模店舗の増加が続いている。また東南アジア料理も上位企業が東京を中心に店舗数が増加していることから、2016年は拡大する見込みである。

宿泊宴会場市場は旅館が施設数の減少により縮小が続いているほか、結婚式場・宴会場も晩婚化や婚姻件数の減少に伴い低調であるが、ホテルがインバウンド需要を獲得し好調で、2016年は微増が見込まれる。今後も外資系をはじめ施設数の増加が予想されるホテルが市場拡大をけん引し、市場は微増が予測される。

#### <注目される業態>

##### クラフトビールレストラン【料飲店】

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
236億円	104.4%	252億円	106.8%

2000年後半から、技術向上により高品質ビールの生産が可能になったことに加え、発泡酒や新ジャンルビール風味アルコール飲料などに物足りなさを感じていた消費者が多様性のあるビールを求め、クラフトビールの人気が高まった。また、これまでの地ビールに加え、原料や醸造方法にこだわった海外産商品や、大手メーカーが原料や醸造方法にこだわり小規模製造する商品が登場するなど、クラフトビールが広がりを見せ、専門店も増加した。

2015年は大規模店舗を有する上位チェーンが堅調であったほか、豊富な品揃えを特徴とする「クラフトビアマーケット」や知名度の高いヤッホーブルーイング社のクラフトビールを扱う「YONA YONA BEER WORKS」をはじめ、東京都内を中心に店舗が増え、市場は4.4%増の236億円に拡大した。2016年は前年に引き続き多店舗化が進んでいることから、市場は前年比6.8%増の252億円が見込まれる。こだわったビールと明確なフードコンセプトによる展開で体験的価値を求めるビールファンを中心に需要拡大が予想される。

##### 串カツ・串揚げ専門店【料飲店】

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
955億円	103.2%	978億円	102.4%

かつては関西に店舗が多かったが、上位チェーンによる多店舗化が進み、展開地域が増えた。

2015年は「串家物語」がファミリー層や高校生など幅広い年齢層の需要を獲得したほか、「串カツ田中」も店舗を増やし、大阪では「新世界元祖串かつだるま」をはじめとして多くがインバウンド需要の獲得に成功するなど好調で、市場は前年比3.2%増の955億円となった。2016年は前年に引き続き上位チェーンの成長が市場拡大をけん引し、前年比2.4%増の978億円が見込まれる。

##### 高価格型喫茶店・コーヒー専門店【喫茶】

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
835億円	109.9%	878億円	105.1%

テーブルサービス、カウンターサービス(セルフサービスのコーヒーショップは対象外)で、客単価が900円以上のチェーン・店舗を対象とした。2011年に「星乃珈琲店」がオープンし、積極的に店舗数を増やしたことで、市場は大幅に拡大した。

2015年は、「星乃珈琲店」「椿屋珈琲店」など上位チェーンを中心に店舗数の増加が続いたことから市場は前年比9.9%増の835億円となった。高品質なフードメニューやサービスで需要を喚起したが、相次ぐ参入もあって競争が激化しており、好調なチェーンと不調なチェーンとで明暗が分かれつつある。2016年は上位チー

ンによる店舗数増加が続く見込みである。また、利用客が求めるサービスのレベルアップに対応するため、サービス品質の高度化が進むとみられる。

<調査対象>

<b>料飲店</b>		
1. 居酒屋・炉端焼	2. アッパー居酒屋	3. 低価格型居酒屋
4. やきとり専門店	5. 串カツ・串揚げ専門店	6. ビアレストラン
7. クラフトビールレストラン	8. ディスコ・クラブ	9. カフェバー・ショットバー
10. スナック・クラブ・パブ		
<b>ファミリーレストラン</b>		
1. 標準型F R	2. 高価格型F R	3. 低価格型F R
4. 和風F R	5. イタリアF R	6. 中華F R
7. ステーキ・ハンバーグF R	8. チャンポンF R	9. バイキングレストラン
<b>喫茶</b>		
1. コーヒーショップ	2. 低価格型コーヒーショップ	3. 高価格型コーヒーショップ
4. 喫茶店・コーヒー専門店	5. ロードサイド型喫茶店・コーヒー専門店	6. 高価格型喫茶店・コーヒー専門店
7. 紅茶専門店	8. フルーツパーラー	9. ベーカリーカフェ
10. 甘味処	11. ジューススタンド	
<b>西洋料理</b>		
1. フランス料理	2. イタリア料理	3. 高級イタリア料理
4. パスタレストラン	5. アメリカ料理	6. ドイツ料理
7. スペイン料理	8. ステーキ・ハンバーグレストラン	9. シーフードレストラン
10. オイスターバー	11. オムレツ・オムライスレストラン	12. ワイン酒場
<b>日本料理</b>		
1. そば・うどん	2. そば居酒屋	3. すし
4. うなぎ	5. てんぷら	6. とんかつ
7. すきやき・しゃぶしゃぶ	8. 料亭・割烹	9. 豆腐料理
10. 低価格ふく料理	11. かに料理	12. ちゃんこ料理
13. もつ鍋	14. お好み焼き	
<b>東洋料理</b>		
1. 韓国料理	2. 焼肉料理	3. 焼肉テーブルオーダーバイキング
4. ホルモン料理	5. 高級中華料理	6. 一般中華料理
7. 点心料理		
<b>エスニック料理</b>		
1. メキシコ料理	2. インド料理	3. 東南アジア料理
<b>宿泊宴会場</b>		
1. ホテル	2. ビジネスホテル	3. 結婚式場・宴会場
4. 旅館	5. 民宿・ペンション	

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2016年7月～8月

以上

資料タイトル	： 「 <b>外食産業マーケティング便覧 2016 No.2</b> 」	
体 裁	： A4判 424頁	
価 格	： 書籍版 110,000円+税 PDF / データ版 120,000円+税 書籍版・PDF / データ版セット 140,000円+税 書籍版・ネットワークパッケージ版セット 220,000円+税	
発 行 所	： 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL : 03-3664-5811 (代) FAX : 03-3661-0165 URL : <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> e-mail : <a href="mailto:info@fuji-keizai.co.jp">info@fuji-keizai.co.jp</a>	
調 査 ・ 編 集	： 東京マーケティング本部 第一部 TEL : 03-3664-5821 FAX : 03-3661-9514	
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a>		